

第34回日本外来小児科学会報告



2025.8 月高松 （※は平井のコメントです）



☆スマホ・ゲーム依存：せめてモノクロにすると体の負担が減る。

☆「ママのスマホになりたい」という歌が紹介されました。泣きそうになりました。一度聴いてみてください。

☆（5歳位の）こどもを喜ばせる方法：「ジャンケン」をして勝たせると、とても喜ぶ。

最初はグー、ジャンケンポイ、でチョキを出すことが多いので、パーをだすと負けられる。違うものを出して来たらすぐ変える。

☆香川県の小児家族性高コレステロール血症（FH）スクリーニングの取り組み：

FHは1人/300人だが、多くは見逃されている。ほぼ全ての小4で、LDL-Cを測定する取り組み。130～140以上でFHの疑い。早めに治療すると将来の脳血管疾患、心疾患の予防につながる。子供で見つかったら、親も検査で発見され、早めに（30-40歳位）治療すると、同じく将来の脳血管疾患、心疾患の予防になる。（リバースカスケイド）

☆60歳から使える高用量HAインフルエンザワクチンが開発されている。

☆5歳児健診：対象は年中さん。4歳6か月～5歳6か月位。

i 軽度知的障害の発見：ジャンケンできるか、しりとり3往復続くか。

ii 多動：椅子に座って診察を受けられるか。

聞き返しが多い時は、軽い難聴か不注意型ADHDが疑われる。

iii 学習障害は見つけれない。



☆シアゼパム点鼻液が発売された（※当院では口腔にいれるブコラムを採用しています。）。

☆ポストコロナの流行ウイルス：まずRSが大流行した。インフルエンザは2シーズンほぼゼロ。その後大流行。

☆RSウイルス予防：シナジスは年数回打つが、バイフォータスという1回で済む薬剤がある。

☆米国では妊婦にTdapという3種混合ワクチンを打っている。ジフテリアと百日咳の抗原量を減らし、副作用を減らした。生まれた2か月未満の赤ちゃんの百日咳が激減した。



平井こどもクリニック